

提

案手法2??章で,現実的な時間で実行可能解を出力することのできる問題例の規模を確認した.

よ

り大規模な問題例を現実的な時間で解くために,ヒュリスティックを用いた数

の数が43の運搬船を考えている。実オペレーションでは、それぞれのホルドを個別で考えるのではなく、複数のホルドをある程度まとめて考えて作業を行っている。そのため、各階にお

法は、有効な解が得られたことが確認できている整数計画問題の解と線形緩和問題の性質が似ている場合に有効であると考えられる。予備実験としてハミング距離を用いてそれ